

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	材料科学		
英文授業科目名	Materials Science		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	三浦 博巳		
居室	東4 - 324		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>金属・合金材料学の基礎を学び、それらを構造用材料として使用する場合の各種組織の制御と物理的諸性質特に機械的特性との関係を学びます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>本科目以外に材料関連の授業がありませんので、専門知識が無くても理解できるようにします。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>無し</p>

【教科書等】
<p>「若い技術者のための機械・金属材料」(矢島ら著、丸善)</p>

【授業内容とその進め方】
<p>必須項目。</p> <p>注1．授業内容と、授業の進め方は、学生がわかるようになっていれば、必ずしも各回ごとに分離して記述する必講義は教科書にそくして進めるが、教科書には記載されていない重要事項や記載されていても説明不足の事項についても講義する。</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2/3以上の出席と演習問題を提出した者に受験資格が与えられ、成績評価は期末試験の成績によって決定される。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

専門知識を覚える（暗記する）のではなく、材料に関連する諸現象の本質を理解し、それらを工学へ応用する上での問題点を知り、それを解析できること、基本的理解を常に心がけるよう努力してください。予習よりは受講したその日の内に講義ノートの整理と復習を必ず実行すれば、容易に理解できる科目です。時間に余裕があれば、昼間コースの材料工学第1，同第2を受講することを進めます。

【その他】